

在日大韓基督教会
宣教100周年標語
 감사의 백년, 희망의 백년
 感謝の百年、希望の百年
 (데살로니가전서 5:18)

福音新聞

THE GOSPEL NEWS

1月1日(木) <2009年> 第672号
発行所 福音新聞社
〒69-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
電話03(3202)5398番
発行人 鄭然元・編集人 朴寿吉
毎月1回1日発行 購読料1部100円
昭和38年9月20日 第3種郵便物認可
印刷所・青丘文化社
Tel.047-495-2555 Fax.047-432-7912

新
年
時
計

希望を 始 始 始

ロマサ12:12

総会長 鄭然元(大阪教会)



希望を
祈禱
祈禱
祈禱

新
聞
新
聞
新
聞

日
大
韓
基
督
教
會
宣
教
1
0
0
周
年
を
ま
か
し
て
お
こ
し
ま
す

日
大
韓
基
督
教
會
宣
教
1
0
0
周
年
を
ま
か
し
て
お
こ
し
ま
す

日
大
韓
基
督
教
會
宣
教
1
0
0
周
年
を
ま
か
し
て
お
こ
し
ま
す

日
大
韓
基
督
教
會
宣
教
1
0
0
周
年
を
ま
か
し
て
お
こ
し
ま
す

日
大
韓
基
督
教
會
宣
教
1
0
0
周
年
を
ま
か
し
て
お
こ
し
ま
す

日
大
韓
基
督
教
會
宣
教
1
0
0
周
年
を
ま
か
し
て
お
こ
し
ま
す

希望を
祈禱
祈禱
祈禱

新
聞
新
聞
新
聞

日
大
韓
基
督
教
會
宣
教
1
0
0
周
年
を
ま
か
し
て
お
こ
し
ま
す

日
大
韓
基
督
教
會
宣
教
1
0
0
周
年
を
ま
か
し
て
お
こ
し
ま
す

日
大
韓
基
督
教
會
宣
教
1
0
0
周
年
を
ま
か
し
て
お
こ
し
ま
す

日
大
韓
基
督
教
會
宣
教
1
0
0
周
年
を
ま
か
し
て
お
こ
し
ま
す

日
大
韓
基
督
教
會
宣
教
1
0
0
周
年
を
ま
か
し
て
お
こ
し
ま
す

日
大
韓
基
督
教
會
宣
教
1
0
0
周
年
を
ま
か
し
て
お
こ
し
ま
す

希望を
祈禱
祈禱
祈禱

新
聞
新
聞
新
聞

日
大
韓
基
督
教
會
宣
教
1
0
0
周
年
を
ま
か
し
て
お
こ
し
ま
す

日
大
韓
基
督
教
會
宣
教
1
0
0
周
年
を
ま
か
し
て
お
こ
し
ま
す

日
大
韓
基
督
教
會
宣
教
1
0
0
周
年
を
ま
か
し
て
お
こ
し
ま
す

日
大
韓
基
督
教
會
宣
教
1
0
0
周
年
を
ま
か
し
て
お
こ
し
ま
す

日
大
韓
基
督
教
會
宣
教
1
0
0
周
年
を
ま
か
し
て
お
こ
し
ま
す

日
大
韓
基
督
教
會
宣
教
1
0
0
周
年
を
ま
か
し
て
お
こ
し
ま
す

2009年 宣教師及び総会 神学生集中講義及び研修会

対象：総会神学生と加入宣教師
期間：2009年3月2日(月)～6日(金)
参加費：1万円
交通費：奉仕教会が負担
主催：総会神学校
後援：中部地方会
問い合わせ先：総会神学校教務・韓聖炫牧師
godlove1953@ybb.ne.jp/080-3355-3890



世界改革教会連盟
東北アジア部会
神学協議会を
開催

世界改革教会連盟
東北アジア部会
神学協議会を
開催

在日大韓基督教会総会立 総会神学校 2009年度 学生募集案内

本校は、一般教育を終了した者が、専門語学、聖書神学、歴史神学、組織神学、実践神学、KCCJ神学を含め、牧会神学の六領域の学びを統合的に修めながら、現代の、特に在日同胞社会の多様性に十分対応できる伝道者の養成を目指す神学校です。

- 募集人員：①神大院生(3年課程、及び2年課程)若干名
- 出願資格：①受洗後、1年以上であること。
②在日大韓基督教会の正会員(但し、他教団出身者は要面接)。
③伝道者への召命感があること。
④一般大学卒業後および他神学校卒業生
- 出願期間：2008年12月1日(月)～2009年1月31日(土)
- 提出書類：①入学願書(本校所定の用紙) ②志望理由書(400字5枚) ③履歴書(本校所定の用紙) ④推薦状(所属教会の牧師または代表)

- 最終学校の卒業証明書 ⑥最終学校の成績証明書 ⑦写真2枚
- 試験：①試験日時：2009年2月17日(火) 午前10時～
②試験会場：総会神学校(東京都足立区西新井本町4-5-1 TEL 03-3899-9861)
③試験科目：聖書、英語、面接
④受験料：5,000円
⑤合格発表：2009年3月6日(金) 書面にて通知
- 募集学科
①本科：出願資格参照。但し、在日大韓基督教会の正会員として他の神学校を卒業し、在日大韓基督教会の考試の受験を志願する者は、校長の推薦を得て本校にて1年以上の修学のために入学しなければならない。加入宣教師の場合も同様である。
- 受講時間：月曜日から金曜日9:00～17:50
- 本神学校内に寄宿舎あり

※入試に関する問い合わせは、教務まで(教務 韓聖炫牧師: TEL 03-3890-3365、携帯電話080-3355-3890、E-mail: godlove1953@ybb.ne.jp)



11月25・26日、在日大韓
基督教教会(KCCJ) 関東
地方会と日本基督教団関東
教区による100周年合同

100周年合同修養会を開催

関東地方会と日基督教団関東教区

修養会が、群馬県安中市磯部温泉のホテル磯部ガーデンにて開催された。宣教百周年記念大会と同じく、「感謝の100年、希望の100年」との主題のもと、関東地方会と関東教区の親密な関係を確認し合う一泊二日となった。

主題講演では、まず、宣教100周年を記念して制作された、KCCJの歴史についてのDVDを鑑賞した後、金根渥

牧師が、群馬県安中市磯部温泉のホテル磯部ガーデンにて開催された。宣教百周年記念大会と同じく、「感謝の100年、希望の100年」との主題のもと、関東地方会と関東教区の親密な関係を確認し合う一泊二日となった。

主題講演では、まず、宣教100周年を記念して制作された、KCCJの歴史についてのDVDを鑑賞した後、金根渥

牧師が、群馬県安中市磯部温泉のホテル磯部ガーデンにて開催された。宣教百周年記念大会と同じく、「感謝の100年、希望の100年」との主題のもと、関東地方会と関東教区の親密な関係を確認し合う一泊二日となった。

主題講演では、まず、宣教100周年を記念して制作された、KCCJの歴史についてのDVDを鑑賞した後、金根渥

牧師が、群馬県安中市磯部温泉のホテル磯部ガーデンにて開催された。宣教百周年記念大会と同じく、「感謝の100年、希望の100年」との主題のもと、関東地方会と関東教区の親密な関係を確認し合う一泊二日となった。

主題講演では、まず、宣教100周年を記念して制作された、KCCJの歴史についてのDVDを鑑賞した後、金根渥

牧師が、群馬県安中市磯部温泉のホテル磯部ガーデンにて開催された。宣教百周年記念大会と同じく、「感謝の100年、希望の100年」との主題のもと、関東地方会と関東教区の親密な関係を確認し合う一泊二日となった。

主題講演では、まず、宣教100周年を記念して制作された、KCCJの歴史についてのDVDを鑑賞した後、金根渥

牧師が、群馬県安中市磯部温泉のホテル磯部ガーデンにて開催された。宣教百周年記念大会と同じく、「感謝の100年、希望の100年」との主題のもと、関東地方会と関東教区の親密な関係を確認し合う一泊二日となった。

主題講演では、まず、宣教100周年を記念して制作された、KCCJの歴史についてのDVDを鑑賞した後、金根渥

牧師が、群馬県安中市磯部温泉のホテル磯部ガーデンにて開催された。宣教百周年記念大会と同じく、「感謝の100年、希望の100年」との主題のもと、関東地方会と関東教区の親密な関係を確認し合う一泊二日となった。

主題講演では、まず、宣教100周年を記念して制作された、KCCJの歴史についてのDVDを鑑賞した後、金根渥

牧師が、群馬県安中市磯部温泉のホテル磯部ガーデンにて開催された。宣教百周年記念大会と同じく、「感謝の100年、希望の100年」との主題のもと、関東地方会と関東教区の親密な関係を確認し合う一泊二日となった。

主題講演では、まず、宣教100周年を記念して制作された、KCCJの歴史についてのDVDを鑑賞した後、金根渥

歴史コラム⑦

宣教100周年記念大会

李清一(歴史編集委員会)



写真：宣教100周年記念大会

在日大韓基督教教会にとつての2008年は、宣教100周年を記念しての多くの事業が実施された年であった。中でも、10月13日に大阪女学院ホールチャペルで開催された宣教100周年記念大会は、オープニングにおける大阪教会グロリア

吹奏楽団の演奏にあわせた、2008年は、宣教100周年を記念しての多くの事業が実施された年であった。中でも、10月13日に大阪女学院ホールチャペルで開催された宣教100周年記念大会は、オープニングにおける大阪教会グロリア

吹奏楽団の演奏にあわせた、2008年は、宣教100周年を記念しての多くの事業が実施された年であった。中でも、10月13日に大阪女学院ホールチャペルで開催された宣教100周年記念大会は、オープニングにおける大阪教会グロリア

吹奏楽団の演奏にあわせた、2008年は、宣教100周年を記念しての多くの事業が実施された年であった。中でも、10月13日に大阪女学院ホールチャペルで開催された宣教100周年記念大会は、オープニングにおける大阪教会グロリア

吹奏楽団の演奏にあわせた、2008年は、宣教100周年を記念しての多くの事業が実施された年であった。中でも、10月13日に大阪女学院ホールチャペルで開催された宣教100周年記念大会は、オープニングにおける大阪教会グロリア

吹奏楽団の演奏にあわせた、2008年は、宣教100周年を記念しての多くの事業が実施された年であった。中でも、10月13日に大阪女学院ホールチャペルで開催された宣教100周年記念大会は、オープニングにおける大阪教会グロリア

吹奏楽団の演奏にあわせた、2008年は、宣教100周年を記念しての多くの事業が実施された年であった。中でも、10月13日に大阪女学院ホールチャペルで開催された宣教100周年記念大会は、オープニングにおける大阪教会グロリア

吹奏楽団の演奏にあわせた、2008年は、宣教100周年を記念しての多くの事業が実施された年であった。中でも、10月13日に大阪女学院ホールチャペルで開催された宣教100周年記念大会は、オープニングにおける大阪教会グロリア

ハンサラン会

金根渥牧師委任式を挙

今後の活躍に期待



金根渥牧師がハンサラン教会から招聘を受け、その委任式が11月23日に執り行

金根渥牧師がハンサラン教会から招聘を受け、その委任式が11月23日に執り行

金根渥牧師がハンサラン教会から招聘を受け、その委任式が11月23日に執り行

金根渥牧師がハンサラン教会から招聘を受け、その委任式が11月23日に執り行

金根渥牧師がハンサラン教会から招聘を受け、その委任式が11月23日に執り行

金根渥牧師がハンサラン教会から招聘を受け、その委任式が11月23日に執り行

金根渥牧師がハンサラン教会から招聘を受け、その委任式が11月23日に執り行

金根渥牧師がハンサラン教会から招聘を受け、その委任式が11月23日に執り行

金根渥牧師がハンサラン教会から招聘を受け、その委任式が11月23日に執り行

金根渥牧師がハンサラン教会から招聘を受け、その委任式が11月23日に執り行

不動産管理
アルカンシェル名駅
李光世
(名古屋教会 長老)
〒453-0013 名古屋市中村区亀島2-2-27
電話・FAX 052-451-7713
携帯 090-3578-7571
E-mail: kwangse.lee@nifty.com

医療法人
おりお心クリニック
院長 金 長 壽
(福岡中央教会 長老)
診療科目：神経科 精神科 心療内科
精神保健相談 酒害相談
診療所：〒807-0825 北九州市八幡西区折尾4-2-8
TEL (093) 603-3280
FAX (093) 603-7985
自宅：〒813-0003 福岡市東区香住ヶ丘1-14-8
TEL・FAX (092) 672-9410

株式会社 **ニューキング**
有限会社 **三 愛**
取締役社長 李 鍾 善
(名古屋教会 長老)
ニューキング 四日市市野田1丁目965-1
TEL (0593) 31-4771(代)
三 愛 岡崎市大和町字荒田14-1
TEL (0564) 31-8893(代)

南会 西地 クリスマス音楽礼拝開催 クリスマス・ページェントを行う

12月14日、西南地方教会
女性連合会と青年連合会の
礼拝が、小倉教会において
開催された。



第一部の礼拝では、クリスマス・ページェントを行い、教会ごとに各場面を担当した。女性青年部長の司会と姜富子会長と姜富子会長の祈りのもと、静かにページェントの幕が開いた。聖歌隊による讃美が響く中、マリアとヨセ

フへの告知、イエス誕生、羊飼いの告知、三人の博士の登場と場面は進み、最後の馬小屋の場面では演技者全員が讃美歌122番を力強く讃美し、劇を終えた。ページェントの間、青年による聖書朗読や、地方教会長の朱文洪牧師による「光は闇の中に輝いている」(ヨハネ1:1-13)と題

してのメッセージ、連合聖歌隊による讃美があった。最後に、崔正剛牧師の祝福をもって、クリスマスのお集まりを中心に参加者一同が一体となった礼拝を終えた。

第二部では、青年会の金京一氏の司会のもと、各教会の紹介、有志による出し物、ゲームなどを行った。今回は、各教会の留学生の姿が多く見られ、喜びが与えられた反面、在日の子どもや青年、そして一世の姿が少なかったことは一抹の寂しさを感じさせられた。寂しさを感じさせられたが、数名の信仰の先輩の姿を見ることができ、その中の代表者による力強い挨拶と讃美に会場は感動で満たされた。また、毎年、コンビを組んで時勢を皮肉りながら会場を笑いで包む二人組が、今回も漢字の読み方ゲームなどで会場を盛り上げた後、4名の男性長老たちによるコーラスが会場を喜びで満たした。

参加できなかった二つの教会にもクリスマスの喜びが満ち溢れることを祈りつつ、会を閉じた。

今回は、女性会中心のページェントであったが、好評であった。女性が元気に時に教会も元気になることを確信しつつ、これからもしっかりと腰をすえて奉仕に励む西南の女性会でありたいと改めて感じさせられる会であった。

なお、今回の礼拝時にさげられた席上献金の一部は、ユニセフとホームレス支援団体に寄付されることになっている。

(報告:金幸子)

在日韓国YMCA クリスマス夕べ開く 子どもから大人まで200名が集う

12月14日、在日韓国YMCA地下スベースワイホールにおいて、「YMCAクリスマス夕べ」が開催された。

会員や近隣教会信徒はもとより、地域にも働きかけ、小さな子どもから大人までが一緒にクリスマスの喜びを分かち合える機会となるよう、昨年からの内容が一新された「クリスマス夕べ」は、その2回目となる今年、200名近い参加者を得て行われた。

在日大韓基督教教会の東京教会リンナ合奏団のフルートとクラリネットによるクリスマスメドレーで幕を開け、遠藤潔牧師(連沼キリスト教会)によるメッセージ「神さまからの最高のプレゼント」に続き、Jサウインド・ビクトリーの美しいハーモニーがあった後、申



会場の金東淳牧師(東京日聖節礼拝が、東京教会において開催された。参加者は82名であった。

聖節礼拝では、地方会副会長の全三郎長老(東京)の司会のもと、韓聖煥牧師(西新井)の祈禱、金明植長老(川崎)の聖書朗読があった。その後、青年会関東地方連合会の青年たちが特別讃美を行い、その讃美の歌声を教会堂一杯に響かせた。その後、地方会副

東会 聖節礼拝を開催 青年会が特別讃美

12月14日、関東地方会の聖節礼拝が、東京教会において開催された。参加者は82名であった。

聖節礼拝では、地方会副会長の全三郎長老(東京)の司会のもと、韓聖煥牧師(西新井)の祈禱、金明植長老(川崎)の聖書朗読があった。その後、青年会関東地方連合会の青年たちが特別讃美を行い、その讃美の歌声を教会堂一杯に響かせた。その後、地方会副

(報告:金幸子)

宣教100周年 献金者一覧

2008年11月
(敬称略)

【KCCJ関係】
ハンサン教会(1万円)、
今福教会(2万円)、横須賀
教会(1万円)、船橋教会
(1万円)、豊橋教会(3万
円)、品川教会(5万円)
【日本基督教団関係】
中部教会(10万円)

住所変更
●朴時永牧師宅
1549 E. 14th Ave.,
Vancouver, BC, V5N
2C9, Canada

YMCA 在日同胞文化の創造と多文化共生社会を目指して 2006年4月25日、創立100周年を迎えました。

- ◆東京で一番安く便利な宿泊研修施設(ホテル): フロントは日・韓・英語に対応、24時間サービス。10名様から220名様のご会議及び宿泊研修(50名様)も可能。
- ◆スペースワイホール: 220席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに最適
- ◆韓国文化(チャング・カヤム・舞踊)教室・韓国語講座・各種子どもクラス
- ◆YMCAアジア語学院(日本語学校) ※会員及び教職者割引有

(税込)	平日	休・休前日
シングル	¥6,300	¥5,040
ツイン	¥11,550	¥9,240
トリプル	¥14,490	¥11,592

朝食¥200
カルピック、コムダン、ユッケジャン、韓定食、洋食
(全メニューコーヒ付き)

東京韓国YMCAアジア青少年センター
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-5-5 TEL 03-3233-0611 FAX 03-3233-0633
関西韓国YMCAアジア青少年センター
〒537-0025 大阪市東成区中道3-14-15 TEL 06-6981-0781 FAX 06-6981-0782

在日韓国YMCA
<http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/>

総会神学校と日本キリスト教会神学校 合同授業を行う

11月28日、総会神学校の朴寿吉教授と梁竜福・朴喜煥・金景信・山本克三の4名の神学生が、日本キリスト教会神学校(埼玉県川越市吉田)を訪れ、合同授業を行った。

11月7日、日本キリスト教会神学校において世界改革教会連盟(WARC)のカークパトリック議長とニオミ・総幹事を迎えての「世界の教会を覚える集い」が開催された際、両神学校の神学生が互いに顔を合わせる機会を得た。このことを受けて、朴教授が日本キ

リスト教会神学校側に合同授業を申し入れて了解を得、今回の合同授業が実現する運びとなった。

昼食とチャペルアワーの後、3年生の「キリスト教教育」の授業に参加した。日本キリスト教会神学校の3年生は、河野美文さん1名。授業では、まず、河野さんが、「ハスル」在日韓国人中学生のための自分発見BOOK「日本人へのラブコール」指紋捺捺指者の証言についての感想を発表した。河野さんは、日本のキリスト教が、明治

期にその発展を担った階層によって、「インテリの高尚な宗教」になってしまったことを指摘。日本キリスト教会は、伝道に力を入れ、貧しい、弱い立場の人びとに寄り添った教会へと変わる必要がある、と述べた。



総会神学校からは、山本克三神学生が塚本虎二「結婚と信仰」について、金景信神学生が「総説 実践神学」(日本基督教団出版局)の第11章「民衆神学の地平」について、それぞれ発表した。金神学生は、韓国



の教会と民衆神学は朴正軍事政権下において、貧しい人びとの側に立って成長・発展を遂げたことと概括した上で、今日の韓国教会が停滞の局面に入りつつあるとすれば、それは教会が本来立つべき場所になか、と疑問を投げかけた。

(報告:山本克三)

在日大韓基督教教会・日本キリスト教会 宣教協約締結10周年記念共同テキスト 『ウリエイウスン』

(わたしたちの隣り人はだれですか)
編集: 在日大韓基督教教会・日本キリスト教会
共同テキスト委員会
定価: 350円(送料80円)
※お申込みは、総会事務局へ
TEL. 03-3202-5391

コラム

私たちの教会はオハヨ!

<18> 大垣教会



大垣といえば、「水の都」である。綺麗な水、美味しい水は、日本一である。私たちの教会は、その有名な水門川の近くに位置している。戦前からあらゆる訓練

そのように、教会は、今も福音を伝えるために励んでいる。信者は少ないが、家族のような雰囲気の中、主のため、教会のために、教会の心身を惜しまず、苦勞し

ていても、力と心を合わせて神に栄光をささげている。何かあった場合には助けに駆け込む。そのように信者たちが頑張っている。そのような大垣教会を三つの言葉で表すとすれば、「愛、家族、交わり」である

礼拝では、韓国語と日本語を使用している。その理由は、たまたま韓国語を習っている人びとが来るからである。彼らは、日本語よりも韓国語に興味がある。「聞きたい、話したい」という気持ちをもっている。ある日本人は、礼拝中に恵まれたと話し、教会員の中、一つの理由は、教会員の中に在日韓国人が一人もおらず、韓国から来た信者ばかりだから、必ず韓国語で説教しなければならぬとい

て、福音を伝えるために、主イエスの愛を分かち合うために、日本人を招いている。そのことに関連して、評判が良いのはクリスマス会である。2006年は、およそ40人が集まって、イエスの聖誕を祝った。07年は、50人以上が集まり、神の愛を分かち合った。12月になると、教会の前を通り過ぎる子どもたちが教会へ行きたいと言う。ある人も、教会では、さまざまな行事をやっていると聞いて、と話してくれた。イスラエルも、創立記念も、収穫感謝も同様だ。教会の行事はすべて、福音を伝えるため、主イエスの愛を分かち合うことに焦点を合わせている。そのためか、私たちの教会に初めて来る日本人が多い。参加した人びとは、「癒される、安

らかに」と話してくれている。福音の種が蒔かれたので、それが必ず実を結ぶことを信じて、祈っている。教会の行事においては、日曜学校の子どもの役割が目大きい。少人数であるが、子どもたちの讃美などを通して、教会へ来た人びとの恵みを感じている。子どもたちは、行事を行えば、いつも不平を言わず、喜びをもって練習する。私たちの教会の宝であり、神の御国を建てる働き人である。これから、より一層、主イエスのことを伝え、福音をのべ伝えたい。私たちの教会と信者が神の器として用いられるようになり、日々、神の祝福と恵みを感じ、クリスチャンになってよかつ

た」と証する者たちとなりたい。大垣教会は歴史のある教会であるが、建物が古くなっている。補修も必要だが、まだ十分である。現在、教会堂の再建築のために献金し、祈っている。教会の建物としてだけでなく、地域に影響を与える建物を建てたいと考えている。誰でも敷居をまたぐことのできる教会堂にしたい。そのことが実現されるように、祈っていただきたい。さまざまな行事を通して、信者たちに絶えることのない喜びが与えられ、時かれた福音の種が実を結ぶように祈っていただきたい。大垣教会があることが、町内に喜ばれるように祈っていただきたい。



「日韓在日キリスト教育協議会」開催

11月17、20日、ソウルの韓国教会百周年記念館にて、「第14回在日キリスト教育協議会」が開催された。これは、大韓基督教教育協会(KCCE)と日本キリスト教協議会(NCC)教育協力が共催して、第1回は、1978年12月に東京において、「日韓在日キリスト教育協議会」として行われた。第3回(81年)から「日韓キリスト教育協議会」という名称となった。第13回(06年)に、現在の名称である「日韓在日キリスト教育協議会」となった。また、第12回(01年)には、大人ばかりが集まるのではなく、若い青少年の育成と交流を願って、「日韓在日キリスト教育協議会」を、現在まで4回、日本と韓国で交互に開催されている。

第1回の協議会から方向づけられたテーマは、キリスト教育と平和、キリスト教育が果たすべき使命などであり、今回(第14回)のテーマは、「生命を生きるキリスト教育」であった。日本からの参加者14名中、在日大韓基督教(KCCE)からは、朴寿吉幹事、金永柱牧師(関西地方教育部長、金性済牧師、呉寿恵教育主事の4名が参加。日本の教会からは、沖繩キリスト教協議会、日本基督教団、日本バプテスト連盟、日本バプテスト同盟、日本ナザレン教団からの参加があった。

第一日目は、開会礼拝をもつて始まった。礼拝では、KCCE会長の朴魯元牧師(韓国長老会出版社長)による「次世代をリバイバルせよ」と題する説教があった。その後、主題をめぐる公開講演

が、韓国基督教教育学会第24代会長であり韓国神学大学教授の李グンマン牧師によってなされた。講演の中で李牧師は、生命を生きるキリスト教育の必要性、聖書神学の生命思想、生命を生きる教育の主眼点を簡潔に述べた。

第二日目は、朝晩会が朴寿吉牧師による説教「平和を実現する教育」のもと、韓国長老会(改革、大韓イエス教長老会)統合、韓国基督教長老会の7つの教団の代表が、「生命を生きるキリスト教育」にどのように取り組んでいるのか、それぞれ短く具体的に発表した。後、全体討議とグループ別討議がもたれた。

第三日目は、フィードバックが行われた。ド・トリップが行われた。フィードバック・トリップでは、独立記念館、柳寛順生家、柳寛順記念館、独立万歳が実施されたアウネ市場などを訪問した後、分かち合いの時間をもつた。分かち合いの時間には、独立記念館の日本語パンフレットの表題に、「歴史の息遣い!豊かな自然!感動と楽しさでいっぱい」と記

されていることに対して、在日・日本側から疑問が呈された。また、韓国側には在日の存在が理解されていないと感じられる中、金性済牧師が韓国留学中に受けた在日としての自身の被差別体験を語って在日の思いを伝え、韓国側・日本側に大きな感動を与えた。

閉会礼拝では、NCC教育部長の石田学牧師(日本ナザレン教団)が「キリスト教育の目指すところ」と題する説教を行った。また、協議会において採択された共同声明を交読文として用いた。

多くの参加者たちにとって、得るところの多い協議会であった。なお、2009年には第5回「日韓在日キリスト教育協議会」が韓国で開催されることになっている。

(報告) 呉寿恵

総幹事活動日誌

- 会議・集会
- 財政委員会 日時・10月4日
- 宣教100周年記念特別集会 日時・10月8、9日
- 宣教100周年記念大会 日時・10月13日
- 日本キリスト教会大会 日時・10月15日
- 日本基督教団定期総会 日時・10月21日
- 日本キリスト教会との宣教協力委員会 日時・10月30日
- 早稲田奉仕団100周年記念式 日時・11月3日
- 日本キリスト教会との宣教協力委員会 日時・11月3日
- 宣教100周年を迎えるKCCJと人権
- マイノリティ教会としての使命
- 開会礼拝 自由のための召し…鄭然元
- 講演 新たな人権体制の構築と在日コリアンの人権…丹羽雅雄
- 聖書研究 「非暴力」の視点から聖書を読む…志村真
- 発題 KCCJの人権活動の歩みと展望…李清一
- 移住者・移住労働者の現状と日本…佐藤信行
- マイノリティ問題と差別の根源…李恩子
- パネルディスカッション 今後の在日コリアンの課題・マイノリティ教会の使命…朱文洪/河礼子/朱喜哲
- 閉会礼拝 キリストの体づくりゆこう…金健
- 発行 在日大韓基督教社会委員会 B5版・80頁
- 頒価 500円(送料80円) *ご注文は地方会社会部に

2009年/第23回 「外国人住民基本法」の制定を求める 全国キリスト者集会

- 主 題: 「共生の天幕を広げよう」
- 日 時: 2009年1月31日(土) 午前10時~12時30分
- 会 場: 浦和カトリック教会 (JR京浜東北線「浦和駅」より徒歩15分)
- 主 管: 外登法の抜本的改正を求める関東キリスト者連絡会
- 主 催: 外登法問題と取り組む全国キリスト教連絡協議会
- セロ・ウアチバ(在日ラティーノス) 創作劇
- 外国籍住民の証し
- ・柳時京さん(立教大学チャプレン)
- ・センブさん(日本バプテスト同盟カチン伝道所)
- 韓国教会からの連帯メッセージ
- メッセージ: 谷 大二司教(日本カトリック難民移住移動者委員会委員長)
- 共同の祈り
- 集会宣言
- 交流会